



●発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
TEL (01866) 2-1111

●編集 総務課秘書係

●発行部数 6,450部

●毎月1日・15日発行

●頒価10円 ●郵便番号018-33

●印刷所 成文社印刷所



年頭のごあいさつ

町長 出川 礼一

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、町行政に対しては、町民各位をはじめ各団体及び機関等、内外からのご指導ご尽力をいただき誠に有難く深く感謝申し上げます。激動する七十年代といわれますが、まさにそのとおりの幕あけでした。激増した交通事故・公害・減反・過疎の進行・そしてドルショックによる不況の深刻化等、昨今の社会は激しく流動しております。

ここに新しい七十二年を迎えましたが、依然として多くの問題をかかえ、時々刻々と変化する社会情勢です。それに伴い、新しい行政上の需要が次々とてきます。それを充足し、町民の満足する最大限の行政効果をあげるため、深い洞察力と旺盛な創意工夫により、行政に対する町民の要求を適確にキャッチし、迅速に処理する姿勢をととのえていきたいと考えています。そのためにも、役場が常に町民のための町政をモットーとした「活気ある行政」の推進を計りたいと考えております。

町民の皆様そして町内外の各団体、機関および組織体各位の特段のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様各位のご健康とご繁栄を心から祈念申し上げます。

昭和四十七年元旦



飛躍

No. 230・47・1・1

五千百八十五万四千円を補正

総額で十億五千二十四万七千円

十二月定例町議会は十二月十七日から二十七日までの十一日間の会期で開かれ、一般会計補正予算案、条例改正、選挙、請願、決算特別委員会に付託された昭和四十四年度決算認定など四十一件が上提され、それぞれについて審議の結果二十三件を原案どおり決定、八件を継続審議として関係常任委員会に付託開会しました。

一般会計では、五千百八十五万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額は、十億五千二十四万七千円と十億円台の予算規模となりました。

〔出川町長行政報告要旨〕

稲作は、低温・長雨など昨年の収穫の八十五%、農家の所得は昨年比へ、減反などより一戸当り十萬円の減少となっている。

出かせぎは、昨年同期に比べ十%増の千三百六人にのぼっているが、うち出かせぎ互助会加入者は、三百十四人にすぎないので今後は加入に力をいれたい。

東北新幹線大館経由については、小畑知事を会長に関係市町村と誘進促進に力を入れているが、いまのところ大館経由を有利とみている。

大野台の飛行場については、土地の問題等あり、地元の協力態勢が必要であるので時期待ちの状況だ。

広城市町村圏の根幹事業は当町では、国民会館(公民館の役目)と消費流通センター(共同市場)の二つがでているが、二月自治省と協議正式

決定となる。事業費は約一億円が見込まれ、四十六年度四十七年度事業となっている。

葛黒地区の重金属汚染対策については、簡易水道の布設と同時に健康診断も実施したい。

上水道は、工事も順調にすすんでおり四月から南鷹巣地区に給水を開始するなどを報告しました。

マ十二月定例会の日程は、十七日の町長の行政報告と一般質問、十八日一般質問、十九日休会、二十日の本会議では議案説明と大綱質疑がおこなわれたあと、各委員会に付託二十五日まで委員会が審議、二十七日の本会議で決定された議案の主なものは次のとおりです。

マ一般会計補正予算の主なものは、職員の給与と改定分が千八百万円、鷹巣町は六町村衛生組合負担金八百九十万円、老人医療費の追加負担分七十万円、児童措置費四百十六万円、保育所備品に百六、二万

び一般職の給与、旅費の改定

マ昭和四十五年決算は、歳入合計九億九千三百七十八万八千円、歳出合計九億四千万八千円、繰越明許費繰越額四百二十二万四千円、実質繰越額は三千九百七十六万三千円となりました。

マ公立合川高等学校組合に加入を決定し加入にもない組合議会議員一名を議員のうちから選挙するもので、沢田一義氏が選出されました。

マ公害対策特別委員会設置を決定し委員定数を八名と定め各委員会より二名として次の八氏が選出されました。

三沢修之助、村上良治、間淵久蔵、三沢実、今野実、高橋祐三郎、渡辺茂雄、佐藤勉。

札幌オリピックの前奏曲

聖火18日(午前) 町内をリレー

二月三日、この日オリピック冬季大会のファンファーレが、雪と氷の都札幌の空に鳴り渡り、待望の第十一回オリピック冬季大会が開かれることになりました。

この世紀の祭典、札幌オリピックに向う聖火リレーが八日町内を通ることになりました。

聖火は、十八日午前十時三十分二ツ井町から引き継ぎ、町内七区間を聖火ランナーで五区間をトーチ車でリレー、十一時二十七分に田代町に引継ぐことになっております。

聖火は、トーチをもつ正走

原博英、渡辺健一郎、宮腰勝信、若松修二、佐藤義隆、福司栄、九島敦、金光寺隆、以上鷹巣農林高校生徒

▼第二区(今泉停留所)前山駐在所 トーチ車

▼第三区(前山駐在所)前山理容館

◎藤田貞章、▽今昌信夫、▽佐藤努、河田高志、成田兼光、長崎秀信、佐々木光一、伊藤泰輔、金田勝則、野呂隆、佐藤吉美、神成武美、村上智久

以上鷹巣農林高校生徒

▼第四区(前山理容館)津谷医院前 トーチ車

▼第五区(津谷医院前)坊沢出口

◎小松隆司、▽松本明広、▽藤田憲子、三沢彰、津谷正雄、松橋睦、藤島佳祐、堀内一、高橋智、藤島和政、湊啓子、近藤ゆみ子、佐藤京子、以上鷹巣中学校生徒

▼第六区(坊沢出口)白牡丹前 トーチ車

第七区(白牡丹前)役場前

◎佐藤博明、▽佐藤和則、▽藤原昭良、千葉寿、中島寿、長崎努、佐藤知治、長岐博、大川千鶴子、花田久美子、近藤真弓、藤木久美子、長岐崎子、以上南中学校生徒

▼第八区(役場前)藤原医院前

◎松尾正弘、▽伊藤和喜、▽佐藤厚子、成田博幸、桜庭哲也、土田正敏、成田幸治、戸沢睦人、本城和美、村上美保子、長崎るり子、島山好子

▼第九区(藤原医院前)パネル工場前 トーチ車

▼第十区(パネル工場前)福島自転車店

◎高橋俊晴、▽石川仁司、▽金沢幸治、奈良田善直、藤田清、成田和明、高橋光義、庭貞、村上俊久、成田千恵子、小笠原敦子、鈴木妙子、近藤かよ子、以上青年会

▼第十一区(福島自転車店)糠沢停留所 トーチ車

▼第十二区(糠沢停留所)田代引継点

◎戸沢貞、▽折原忠美、▽高橋茂、古林章、金沢淳治、橋谷武光、佐藤章雄、加藤喜也、島山志保子、近藤マ子、小林貴美子、関圭子、工藤優子、以上鷹巣高校生徒

読書感想文コンクール

公民館付属図書館では、読書感想文を次により募集しております。

- ▽応募区分 小学校の部、中学校の部、高校の部、一般成人の部
- ▽課題 自由とする(四百字詰原稿用紙五枚以内)
- ▽締切 昭和四十七年一月三十一日
- ▽送り先 鷹巣町公民館読書会係

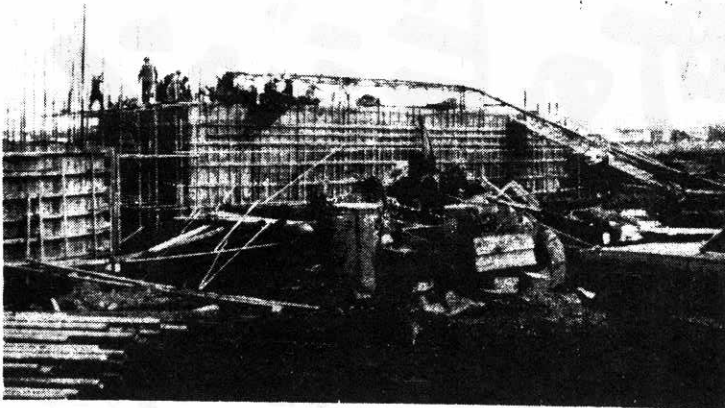
× ×

着々進む水道工事

南鷹巣地区は四月給水

四億の巨費を投じて建設中であります上水道の現況をお知らせします。

昨年十月、工区を三工区に分け発注、計画としては、四月から開校する中央小学校への給水と南鷹巣地区への給水という工期的には、非常に見込みです。



浄水本館と1号井のコンクリート打込

各施設の工事進捗状況は、給水の基礎になる浅井戸、これは直径四米ですが、予定どおり掘り上がり、新年早々から水中モーターポンプの取付が始まります。井戸から上げられた水の量を計り、滅菌して送水ポンプまで送るポンプ井は、コンクリート打ちを終り養生中です。

また、浄水場の主体となる浄水本館（延床面積四百八十六平方メートル、地下ポンプ室地上二階）は、地上二階までコンクリート打ちを完了し、目下養生中です。養生期間が終了と電気的引込み、受配盤取付

送水ポンプの取付けも完了です。

配管工事は、昨年十一月から着手し、十二月中旬に難関となっていた国道を横断、予定どおりの五千米の配管を完了しましたが、工事中道路の状況等悪く不便をかけたことをおわびいたします。道路の復旧は、雪消えを待つて復旧することになっております。

一方、水道加人については、一々曾えつつありますが、まだ計画の三十八台分です。

南鷹巣地区につきましては、一月まで各戸引込み工事を終る予定です。

また、その他の地区については、四月早々から調査し、本管工事とあわせて引込み工事を行なう予定です。したがって市街地については、秋頃から一部給水を開始し、年末には全戸給水を開始する見込みです。

近づいた町議選 3月

明るく正しい選挙を 推進しましょう

三月三十一日で任期満了となる、町議会議員の一般選挙は、三月下旬全県統一選挙として実施される予定です。

町議会議員の選挙権、選挙登録基準日の二ヶ月前に鷹巣町に住所を有し、住民登録をした方、および投票日まで満二十才に達する方は、各々選挙人名簿に追加登録され

ますが、住民登録の手続きをしない方や、選挙期日までに他町村に転出した場合も選挙権はなくなりません。

町議会議員の選挙は、私選にとつて最も身近な選挙です。明るく正しい選挙を推進しましょう。

年賀状



広報のしおり

一九七二年の年があけました。おめでとうございませう。元旦の朝、年賀状の配達されるのを待つ気持ちのほのほとしたときです。いつもですと、せいぜい新聞ぐらいしか待っているものもないのに、まるで恋人から手紙のくるのを待っているように、今か今かと待ちこがれます。お友だちや遠い知り合いなど、ことしはどんな趣向で年賀のあいさつを書いてくるだろうか。心のときめきを押しえきれない一瞬です。

「おせいかいけさの配達はおせいなあー」などと思わないで、ゆつくりお待ちください。なにしろ、この朝、北から南から全国に行き交う年賀状の数はざっと二十億通といわれます。配達員の方も、いつもの何十倍も重いカバンを下げて、軒軒回っているのです。

どさどさ音をたてて投げこまれた年賀状の中に、古いお友だちの名前を見つけたら、思いがけない人からいただいたり、意外なうれしさやなつかしさが込み上げてくるものです。中には年に一度ごぶさたのおわびを兼ねたものもありましようが、ふだん顔を合せていないながらも、暮れから正月休みの空気を埋める友情と信頼の結び目の役割を果たしているようです。

やや骸く年賀状に混り来りし計 阿部清人
あんな丈夫そうなたがと思わずそのくわしい消息が聞きたくなるような知らせもあるでしょう。

初ゆめ



二日の夜、おめでたい夢を見れば一年中幸運にめぐまれるという。

そこで「吉夢」をねがって枕の下に宝舟の図を敷いて寝る。吉夢であったらお守袋にしまっておいてその年の幸運をねがい、悪夢だったら翌朝早く川に流してしまおうという、たのしい行事です。

宝舟の図というのはいろいろあったようですが、おもちに帆を張った舟に宝物を積んで、おなじみの七福神の乗ったものでした。

70年代 鷹巣町のビジョン

★ 昨年の十一月二日、第三回鷹巣町教育文化★
 ★ 祭の一環として「七〇年代の鷹巣町のビジョン★
 ★ ヨン」というテーマで弁論大会が鷹巣小学★
 ★ 校で行なわれました。参加者八名の弁論文★
 ★ の要旨を記録しました。★

70年代は こんな鷹巣に



鷹巣小学校6年 佐々木 正 樹

鷹巣町は、まわりが緑にかこまれていて、とても自然の豊かな町です。たとえば中央公園ですが、秋田三十景に選ばれている通りに公園の美しさは、みんなみとめています。しかし、PRが足りないため、鷹巣以外の人で知っている人は、あまり多くはないと思います。ですからこういう所を、観光地として開発していけば、どうでしょうか。

また、自然を人に見せるだけでなく、現在薬師山にある、スキー場をもっと大規模なものにすればいいと思います。たとえばリフトをとりつける、敷地をもっと広くするといったことです。そうすれば、冬の間も行楽地としてにぎわうことになると思います。

次に、今までのこの他に細かいことですが次のようなことも、実現できたらいいと思います。

その中の一つが、駅前の広場のことです。この広場は、駐車場とタクシーの発着所などに使われていますが、鷹巣に来る人たちは、この広場を見てどんな印象をうけるでしょうか、きっと殺風景だという印象をうけると思います。

そこで、駅前の広場に花や木などをたくさん、植えたりして観光地らしいふんいきをだしたらいいのではないのでしょうか。

また、砂利道を舗装道路にして、雨の日も歩きやすくなり、歩道と車道をはっきり区別したりすればいいと思います。

70年代の鷹巣を造っていくのは、ぼくたちです。そのぼくたちが、大人になり政治に関心を持ちはじめたときに、過去の計画がらっぱだっからりっぱなほど、工事は、ちやうど早くとも進み、秋田県の人たちが目をみはる、みんなの望んでいた、豊かで幸せな鷹巣町ができるようになるでしょう。

また、そのためには、ぼくたちも今から鷹巣町の発展のために協力していきたいと思っています。

わたしの理想とする鷹巣町



鷹巣小学校6年 香 田 香 山

わたしは鷹巣町がもっと住みよい町になってほしいためにこんなことを望みます。

まず、人口減少を防ぐため近代的な農業、たとえば便利な農機具を町で買ったり、お百姓さんたちが安く売ったり、お百姓さんが協力してやたらどうでしょうか。

また、若い人たちのもっている力が十分出されるような町にするために今鷹巣にある工場を大きぼにしたり農産物の加工工場を多く誘致してほしいと思います。

健康な町、文化的な町づくりのためにこんなことも望みます。

人々が思いっきり泳げるような町のプールを作してほしいと思います。場所なら中央公園の向うにもあると思います。

また、鷹巣町のことをもっとくわしく知りたい人のためにきょう土博物館を作ってほしいものです。

さらにきれいな町づくりのために何曜日には下水道をきれいにしましょうとよびかけたり、路上にゴミ箱をたくさんおいてゴミを拾ったらすぐすてられるようにしてほしいと思います。

新しい町づくり を目ざして



鷹巣中学校2年 藤 友 記 齋

鷹巣は、昔から県北の中心地として栄えている所ですが、現在はどうでしょうか。

人口の過疎化が進み、年々人口が減っていく傾向にあります。ですから私はこの際、鷹巣町をさらに発展させる産業が、ぜひ必要だと思っています。

主な産業である農業は、余り米・減反などで、大きな曲がり角にきています。ですから工業をもっと盛んにしたらどうでしょうか。

従来からある駐藻土を利用した工場をもっと大きくしたり、阿仁地方からとれる豊富な木材を、材木業だ

けでなく、パルプ工場にも利用した
らどうでしょうか。また、今まで誘
致された工場は繊維関係のものが多
いのですが、男の人も共に働けるよ
うな工場ができれば、出かせぎをす
る人も少なくなり、若い人たちにと
っても、魅力のある町になるのでは
ないでしょうか。

鷹巣町に新工場の大団地ができ
これが私の夢です。工業の発展によ
って、商業・交通設備などが整い、
鷹巣町全体の発展へとつながってい
くことでしょう。

でもこれに対しても、いろいろな
問題があります。第一に考えられる
のが公害です。

「鷹巣のこのきれいな空気、自然
の環境をできるだけこわさないで、
公害のない工業地帯にするにはどう
したらよいか」これは、私たち若い
世代に与えられた、重大課題だと思
います。

新しい町づくりの希望を持ち、鷹
巣町を大きく発展させるために、私
たちもこれから、がんばっていきま
いと思えます。

自然を私達の手に



南中学校 2年
千 葉 厚 子

私たちの鷹巣町は、日本の近代都市

に伴ないこの数、いめざましいほ
どの進歩をとげました。しかし、こ
の現状とは裏はらに、失われている
ものは少なくはないでしょう。

まず第一にあげられるのが交通問
題です。数年前までは道路を遊び場
としていた私達ですが今はどうでし
ょう。遊び場どころか「いつ事故に
会うだろう」という不安におのきな
ながら通学している毎日です。これ
では何のための義務教育を受けてい
るのでしょうか。そこで私は思うの
です。「この町内の学校前、及び危
険区域にはぜひ歩道橋を設けてほし
い」と、そうすることが町民の不安
な気持ちをやわらげ、明るく住みよ
い町づくりの第一歩となるのではな
いでしょうか。

次にあげられるのが減反問題です。
今まで農民は米づくりに精をだし、
よりおいしいお米を一粒でも多く作
ろうと、いろいろな努力をしてきま
した。しかしそれを待っていたのは
減反という悲しい結果です。農家に
生まれ農民の子として育ってきた私
にはどうしても理解できません。こ
の減反問題により農業から他職業に
切り変える農家も出てきていますが
もしすべての農民が、日本人の主食
である米作りをやめたいらいたいど
うなるでしょうか。結局最後に困る
のは私達すべての国民ではないでしょ
うか。今はどんなに小さなことでも
このままほうっておけば、いつかは
きつとそれこそ取り返しつかない
ことになってしまうのではないかと
思うのです。このような結果をまね

かないようにするために、農民の
重要性というものをよく理解し
その存在を大切にしよう今から対
策をとっておく必要があると思いま
す。

私達町民は常に「鷹巣町の発展の
陰にはどんな犠牲が生じ、何が失わ
れようとしているのか」ということ
を考え、毎日の生活の中で正しい判
断の目を養っていくと共に、国民共
通の財産である自然を決してそこな
わない町の発展を陰ながら見守っ
ていきたいと思います。

友だちとの 話し合いの中から



南中学校 2年
久 留 島 悦 子

中学生時代は長い人生においても
っとも大切な時代であり、一生を通
じての友だちも多くは中学時代に育
てられることが多いといわれます。

私も多くの友だちと交際しておりま
すが、最近友だちとの話し合いの中
で話題になった二、三の例を引きあ
いに鷹巣町の七〇年代の将来にかか
わるビジョンと結びつけてみたいと
思います。

私たちの学校は三校二校舎から入
学していますがそのうち中央小学校
から入学しているほとんどの生徒は

多く 満をもっており、学区編成
のために半分以上の人が鷹巣中学校
とわけられ、脇神、上野部落以南の
友だちだけが南中学校に学ぶよう
にされているのです。そこで鷹巣町内
の中学校は今の二校でいいですが
米代川をはさんで南鷹巣、旧沢口、
七日市方面を一学区として鷹巣南中
学校に入学させ学校環境をよりい
そう整備してもらいたいと思います
次に通学についての問題ですが、

私たちの学校は通学区が広く又、遠
い部落からの通学者がたくさんおり
ます。そのために奥地の友だちは不
便な中で学校生活をおくっています
そして、ほとんどクラブ活動にも参
加できず楽しく過ごすべき時間を通
学のために全力投球しているという
感じがします。そこで、こうした友
だちのために学校専用のスクールバ
スが用意できないものだろうかとい
う事です。

以上私は友だちとの話し合い
を通じて二つのことを強く訴えたい
と思います。

町の指導者の皆さん、私の願いを
かなえ、町のすべての中学生が、思
い出の豊かな楽しい学校生活を送れ
るようご協力ください。



住みよい環境を



鷹巣中学校 3年
川 口 陽 嗣

この鷹巣町は、僕が中学校に入
したところと比較すると、道路も整備
され、補装もどんどん進んでいます
し、総合庁舎、保健所、警察署など
も新築されました。こういう点から
みれば、鷹巣町は生まれかわったよ
うに見えるかもしれません。

ところが、この鷹巣町の環境の方
はどうでしょうか。道路は整備され
てはいますが、それは逆に、いた
るところにゴミがおちているのです
また、ゴミの中でも特にタバコのす
いがらがめだっています。

公害が発生したというような大き
なことはもう少し先のことだと思
いますが、路上のゴミは、このまま
はいけないと思います。ゴミをなく
するのは困難だとは思いますが、だ
れにでもすぐできる足もとからき
れいにしなければ住みよい町にはな
りません。

その対策として、町のところど
ろに、ゴミを入れるポリバケツを置
くとか、電柱に灰皿をつけるとか、
または、たまの日曜日など町内の奉
仕活動としてゴミ処分をすれば、い
くらでも町はきれいになっていく
271

と思います。
また、川についても、よれがめだつてきています。これも、今のうちにきれいになるように対策が必要だと思ひます。

これからも鷹巣町は、どんどのびるでしょう。いろいろな産業が発達する可能性が十分にあると思ひます。しかし、いくら産業が発達しても、僕たちのまわりだけはきれいにしておきたいと思ひます。

鷹巣町には、ゴミがひとつもちてはいない」と、他の町の人から言われるような町を、僕たちは望んでいます。

そして、そのことは僕たちの心の中から生まれてくることだと思ひます。

ひとりひとりの心の中に、住みよい環境ということばを植えていきたいものだと思ひます。

人間の存在を大切に



鷹巣高校 2年 高岐 ふみ子 校長

交通事故、公害、犯罪、貧困、労働災害は世の中のズレ、そして、そのズレを最も感じたのが戦争でした人間同志の争いが、人類の破滅につながることをおぼろに感ずる人間、

そして、この世に生命よりも大事なものがあはざるがたいのを知って人間がおこすべきことだったのではありませんか。それは、人災というべき事で、炎の中を逃げ廻つた人々の恐怖、悲しみ、怒りは等しく深いはずです。

ここで、目的をたつするために、人まで殺すというやり方が何に値し何を後に残してくれたかということ。しかし、確かに第二次世界大戦という大きな犠牲を払つて日本はひじょうな発展をとげ、同時に、民主主義国家に生まれ変わることができました。民主主義では、富めるものも、貧しいものも、老若男女を問わず人間が大切にされ、人格が、尊重されることでなければならぬはずですが、人の価値が高められる中でなおも多くの点で矛盾を感じることがあると思ひます。

又、話し合ひは今日、民主主義の時流のつて、いつさいの難問を解決する万能薬のように推賞されてきています。つまり、人間の立場にもどつてじっくり話せば協調の橋をかけることができるはずといった具合です。でも話し合つてわかるものなら人類の諸文明を、廃墟につき落とされたあの内乱を今なお続くベトナム戦争などは、起こらなかつたはずではないでしょうか。では一体、社会のズレを克服する途はないのかと断念する前に、人間の存在の根本的実相をしかと見るべきだと思ひます。不安におびえ心ひるむのが世の常、人の常であるとき、戦争といふ

大きな犠牲を思うと、私たちが今一番願うことは、第二の人間復興でありともに信じあうことの大切さを改めて考え、人間は人間なくしては生きられないことを忘れることなくもつと一人一人を大切にしていくなさだと思ひます。

ささやかな言葉



鷹巣高校 2年 由美子 高沢 三

私の知っている人に、牛乳配達をしている少年がおります。数年間配達を続けてきたうちに数々の感動的なエピソードがありました。その中でも、時々、私の心によみがえつて明るい気持ちにさせてくれるものがあります。

それは、つめたい風がふきあれて冬のある朝、少年の自転車のハンドルをにぎる手はもう感覚を失つていて、そのうえ、集めるあきビンの中には、タバコのすいじがらや、マッチのふえかす、ひどいときにはたんつばまではいつていて、まるでゴミ集めのようなだった。それを手にするたびに、少年の心はすさんでいき

度度も「もう、こんな仕事はやめてしまおう、もっとカッコイイ、らかな仕事をしよう」と思つた。しかし

お得意さんの中で、ただ一軒だけ、いつもあきびんをきれいに洗つておいてくれる家があった。ある朝、いつものように少年が、その家へ牛乳配達にいきましたと、あきびんの上に白い封筒がはかれていたのです。

「けさは、凍りつくような寒さですお仕事はつらいでしょう。でもお体には気をつけて、毎日、新鮮な牛乳を運んで下さいね」ただこれだけの短い文を少年は、何度も読みかえした。それから少年は毎日元気で働くことができたという。

どこにもあるような、また誰にでもできそうなありふれた話です。でも、あやうくなげだしかけた弱い心を一枚の手紙のためにささえることができたという、そのあたたかい思いやり、一枚の手紙の尊さをしみじみと思ひます。

私は非行少年、そう呼ばれる人達に、悪の心に負けない強い人になつてもらいたい。牛乳受け箱の中に手紙を入れた奥さんのように。

私の提言はささやかすぎるかもしれませんが、大いなる勇気と自信をもって友情の実行者となる時、かならずや、この願ひはかなえられるものだと思ひます。そして「実行力のある友情、行動力のある友情こそ私たちにできる防犯への原動力となりうるものであると固く信じます。

電話で年賀を

電々公社ではダイヤル市外通話の正月割引を行なうことになりました。

割引期間は、一月一日から三日まで、割引方法は現在の夜間通話の料金が適用され、約四割引となります。対象となる通話は、六十秒を超える対地へのダイヤル通話で、交換手の取扱う一〇〇番通話の夜間割引は、この三が日は廃止されることになりました。

（出かせぎ情報）

最近、出かせぎ先や帰郷の途中において、死傷事故が多くなつています。

留守家族の方は出かせぎ先へ、自分の健康状態に応じて、無理のない就労をするよう手紙を出しましょう。

特に就労直後や帰郷の前後に事故が多く発生しています。

また、正月に帰郷し、再就労時には、とくに飲酒等による列車中の事故も心配されますので、とくに注意してください。

不幸にして事故の通報を受けたときは、すみやかに役場出かせぎ相談所に届け出るようにしてください。

農家の皆様へ!!

総合資金制度について

総合資金制度は、規模を大きくし、効率のよい農業生産を行なおうとする農家の方々に資金、技術の両面から援助しようという目的で新しく設けられた資金制度です。

★制度の特長

この資金は、①多額の資金を長期、低利で借りられること(個人の限度額八百万円二十五年度償還、年五分の金利)②経営の改善に必要な他の資金(農業近代化資金)もまとめて借りられること③借入に伴い農業改良普及所等の専門家に直接指導を受けられること等、今までの資金にない特長があり、自立経営をめざし規模を大きくしようとする農家にとっては、好都合な制度であるといえます。

★借入対象農家

この資金の対象となる農家は、今後自立経営として伸びようとする意欲と技術を持ち、資金借入による規模拡大後の農業所得がおおむね八十万円以上となる農家です。
なお、本資金の対象とな

★申し込みのしかた

借入手続が簡単なこともこの資金の特長です。借入希望者は、借入申込書を農協等へ提出することになります。その記入方法、経営改善計画のたて方等については、農協、農業改良普及員等が積極的に指導します。

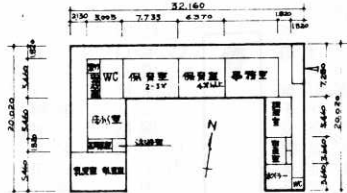
今年この資金を活用したい方は、二月末日が切日となっておりますので早目にもよりの農協等へ申し出てくださいます。
なお、詳細については、役場農林課、各農協、農業改良普及所へご相談ください。



＝保育所新築工事開始＝

工事費は630万円

鷹巣保育所(図面は、保育所平面図)新築工事の入札は、十二月八日行なわれ、六百三十万円で五代儀工務店が落札しました。
工事は三月二十五日までとなっております。
保育所は、旧役場庁舎跡地に建設され、木造平家建(外部モルタル)四百平方メートル、内部は、事務室、保育室(2)ほふく室、乳児室(2)器材室、調理室等からなっております。



鷹巣保育所平面図 縮尺1:400

「冬休みのくらし方」 雪に鍛え、規律ある生活を

鷹巣町小中学校生活指導協

議会で、年末・年始・冬休



山の子は元気です
(七日市三の渡で)

昭和四十七年度 保育園児募集

昭和四十七年四月より入所を希望する町内保育園児を次のとおり募集しています。希望者は入所申請の手続きをしてください。
▽申込み期間 一月四日より一月三十一日まで
▽申込み先 申請用紙を地区担当民生委員か各保育園から交付をうけ、役場町民課福祉係に提出してください。
▽入園通知 三月中旬まで保護者に可否を通知します。
▽各保育園の定員
(鷹巣保育園) 九十名
三才未満児 十八名
三才児 十七名
四才以上児 五十五名
(南鷹巣保育園) 百十名
三才未満児 三十五名
三才児 二十名
四才以上児 五十五名
(七日市保育園) 六十名
三才未満児 十二名
三才児 十五名
四才以上児 三十三名
(綴子保育園) 六十名
三才児、四才以上児あわせて六十名



みを明るく、たのしく過しう、小中学生の「生活のきまり」を次のようにきめました。
子どもさんはもちろん、家庭や地域のみならず、声かけあい、事故のないたのしい冬休みにしましょう。
▽スポーツで心身を鍛える
寒さに負けないで、積極的に戸外で運動をする。
▽規律ある生活をする
各自、生活時間をたて、きまりある生活をする。
▽帰宅時間は、小学生は午後四時、中学生は午後五時までに家に帰る。
▽事故や非行のない生活
特に交通事故、スキーやスケートによる事故や年末・年始の不良化防止につとめらる。
◎特に家庭や地域におねがいしたいこと
●児童生徒の冬休みの計画を知り、適切な助言をする。
●家族みんなで話しあいをする。
●声をかけあい、事故や非行のないよう協力する。
●危険な場所をしらべ、標示や防護対策をすすめる。
●児童生徒の喫煙、シンナー遊びの禁止協力。
●ホーリング遊びの禁止
以上、雪に鍛えて、あかるい冬休みをすごさせるよう地域の協力を願います。

第十回町民スキー大会

1月16日、町営業師山スキー場

第十回町民スキー大会を、一月十六日午前九時から、町営業師山スキー場で開きます。

だれにでも参加できるミカン拾い競争など、楽しい種目がいっぱいですので、多くの人が参加してください。

競技種目は次のとおりです。

【小学校の部】

大回転、距離は、男子は四年、女子は五年から。リレーは学校対抗。

【中学校の部】

大回転、距離は学年別。リレーは学校対抗。

【一般の部】

大回転、距離は一般と青年男女。ミニスキー回転リレーは、地区対抗。



●喜びの受影者

学童交通安全ポスター

入賞作きまる

鷹巣町交通対策協議会では、町内の小学校から交通安全ポスターを募集していたが、このほど審査を行い、入選三点、佳作四点を選びました。

▽入選 佐藤整(綴子小六年) 三沢千穂子(同) 堀内浩(同四年)

▽佳作 山谷富美子(綴子小六年) 三沢悦子(同五年) 畠山充(同四年) 小川美穂子(同五年)



年始臨時列車

国鉄では、年始の臨時列車を次のとおり運転することになりました。

比較しやすい臨時列車で旅をお楽しみください。「おが2号」

運転期間 一月一日～十日

東京方面行き(上り)

鷹巣発 17時45分

上野着 6時24分

東京方面から(下り)

上野発 21時11分

鷹巣着 10時43分

「津軽52号」

(上り) 鷹巣発 20時3分

上野着 10時33分

このほかに秋田から、夜間特急(つばさ51号)が、秋田発22時10分、上野着6時54分、二月一日から五日まで運転されます。

詳しくは、鷹巣駅にお問合せください。

工業統計・実態調査

提出期限は一月十日

十二月三十一日現在で、工業統計調査と工業実態基本調査が行なわれておりますが、調査のたごごとに皆さまのご協力をいただきありがとうございますとございます。

▼工業統計調査 製造業に属するすべての事業所をもれなく調査するいわば製造業に関する国勢調査

です。

工業実態基本調査 製造業に属する会社および個人企業のうちから抽出選定した企業について実施します。

いづれの調査も、調査結果は国や地方公共団体の行政上の基礎資料や、企業経営の指針として広く利用されます。集められた調査票は統計法によってその秘密は厳守され、統計目的以外には一切使用されません。

提出期限は一月十日までとなっており、正しい報告をされるようお願いいたします。

町職員資格合格者

昭和四十六年度町職員資格第二次試験は十二月十二日役場で行なわれ、次の二名が合格しました。

なお、受験者は第一次試験二十一名、第二次試験十五名でした。

職員資格合格者

鈴木祐悦(綴子字田町)

九島平悦(七日市岩脇)

善意

茶道・裏千家鷹巣会では、このほど町社会福祉協議会へ老万円の寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

志に深く感謝いたします。

▽前山 戸沢文雄さんから父、芳蔵さんの香典返し、一〇、〇〇〇円

▽駅前 八木旅館持地茂樹さんから亡父、幸造さんの香典返し、一五、〇〇〇円

▽糠沢 川出川夫さんから亡父、仁吉さんの香典返し、二〇、〇〇〇円



誕生おめでとうございます

12月1日、12月15日

長岐博明 道弘長男 東伸通
西島加奈江 三能留長女、太町
吉田幸彦 幸義長男 西伸通
山山正一 幸一長男 深李信
寺田 誠 敏徳長男 葛黒
堀部 涉 昭作二男 葛黒
佐藤清光 キミ同居人 新田中
小坂昌幸 昌男長男 元新町
中島 勉 堅治長男 東伸通
中島 諭 弘二男 古関
佐藤満貴子 健二女、福住町
西村富士子 広治長女、北新町
佐藤笑子 義弘二女 三ノ渡
二人の前途を祝福します。

高橋 清治 上町
高橋 美名子 上町
戸島 太一 今泉
池端 島子 今泉
熊田 進 前山
齋藤 美子 森吉町
佐藤 信藏 森吉町
五代儀 信藏 太平町
吉田 義政 東住吉町
坂本 由美子 長野県

高橋 清治 上町
高橋 美名子 上町
戸島 太一 今泉
池端 島子 今泉
熊田 進 前山
齋藤 美子 森吉町
佐藤 信藏 森吉町
五代儀 信藏 太平町
吉田 義政 東住吉町
坂本 由美子 長野県

齋藤 昭夫 田代町

藤藤 良子 羽立

佐藤 四郎 秋田市

佐藤 千賀子 大堤

渡辺 俊一 前山

小笠原 美保子 前山

菊池 岩彦 琴丘町

佐々木 栄子 街道町

戸沢 定光 森吉町

佐藤 孝信 古関

村上 孝信 古関

三沢 孝信 古関

成田 洋一 今泉

藤田 美代子 能代市

長崎 正史 大野尻

九島 純子 西旭町

齋藤 優子 西旭町

関 正 西旭町

熊谷 長子 西旭町

奈良田 ヒサ子 西旭町

明石 文吉 明利又

本城谷 ちや子 小摩当

出川 久男 糠沢

奈良田 ムツ子 上町

小林 忠男 合川町

春日 鉄久 森吉町

堀部 秀子 葛黒

おくやみ申しあげます。

出川 仁吉(64) 糠沢

途谷 アキ(54) 新旭町

小笠原 菊治郎(67) 大堤

高原 チヨ(77) 相善町

大川 セツ(43) 黒沢

畠山 ナツ(78) 三ノ渡

山城 ナヲ(97) 七日市

山城ナヲさんは、当町の最高令者でした。